

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25220
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学 家政学部 生活デザイン学科	開催方法 (キャンパス・施設)	■ 対面 (本学) ☐ オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	生活科学入門 ～ 生活と住まいの変化と家庭科教育 ～					
	学問分野	番 号	44	名 称 生活		
3. 担当教員	孔相権・伊藤圭子 (家政学部 生活デザイン学科)					
4. 開講期間 (曜日)	令和 7 年 8 月 7 日 (木)					
開講時間	10 時 10 分～14 時 00 分 (90 分×2 回)					
個別開講日	1 回目 8/7	2 回目 8/7	3 回目 /	4 回目 /		
	5 回目 /	6 回目 /				
5. 募集定員	30 人 (受入学年 :)					
6. 科目内容・ 授業計画	1. 「住宅の発展と生活の変化」10 : 10～11 : 40 (孔相権) 60～70 年前には「お風呂は毎日入るものではなかった」そんな常識をみなさんは知っていますか？和室の四畳、六畳の二間に土間キッチンに三世帯が同居するというのが戦前の都市労働者階級の住まいであったことをみなさんは知っていますか？公営住宅や日本住宅公団 (現在の UR) のステンレスキッチン付きの 2DK が憧れの住まいであったことを皆さんは知っていますか？みなさんの当たり前は数十年前は当たり前でもなんでもなく、みなさんの祖父母、両親が豊かな生活のために獲得してきたものです。住まいと生活の関係について考えてみましょう。 2. 「家庭科での住生活の学び」12 : 30～14 : 00 (伊藤圭子) みなさんにとって住まいとはどのような場所でしょうか。国土交通省の調査 (2015)によると、「安らぎ・くつろぎの場所」「家族団らんの場所」という回答が多かったです。私たちは住まいの中で、睡眠、食事、団らん、入浴、身支度などの生活を営んでおり、住生活を営む空間とそこにかかわる人間関係とは密接なつながりがあります。自分らしいライフスタイルを実現するためには、どのような住まい方をすればよいのでしょうか。住生活をよりよくしていくために、どのような学習が必要かについて考えてみましょう。					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件 ※1 あり・ ☒ ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 : 6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 女子に限る					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。